

ナレーション原稿「吉野ヶ里遺跡」

ナレーション原稿

よしの がり いせき なが ほり かこ にほんさいだいきゅう き ぼ やよいじだい いせき
吉野ヶ里遺跡は、長さ 2.5km の壕に囲まれた日本最大級の規模の弥生時代の遺跡です。

よしの がり いせき ちょうせんはんとうけい ゆ つた こめづく ぶんか と い むら くに はってん
吉野ヶ里遺跡は、朝鮮半島経由で伝わった米作り文化を取り入れて、村が国へと発展してい
くことがわかる貴重な遺跡です。

いせき ものみやぐら たてあなじゅうきょ ふくげん やよいじだい ふんいき たいけん へいせつ てんじしつ
遺跡には、物見 櫓、竪穴住居などが復元され、弥生時代の雰囲気を感じ、併設の展示室
では出土品などを見学できます。

なか おお じゅうきょあと たかゆかそうこぐんあと こ はか やよいじだいちゅうき おうぞく はか
この中からは、多くの住居跡、高床倉庫群跡、3,000 を超える墓、弥生時代中期の王族の墓、
高度な技術がある銅の剣などが出土し、大陸との交流をうかがわせます。